

訃報

田中建一君（11組）が逝去

上原昇（2組）

田中建一君（11組、千曲市在住）が10月9日に亡くなりました。
葬儀は10月12日、戸倉法事センターで滞りなく執り行われ、多くの同期が参列して見送りました。

田中君は高校時代には、応援団の副団長として活躍されました。
また、ゴルフ好きの田中君は同期ゴルフコンペの常連でもあり、豪快なショットを思い出します。

心からご冥福をお祈り申し上げます。 合掌

【在りし日の田中建一君（卒後50周年記念同期会にて）】



以下、応援団でも一緒だった増澤賢一君（9組）から葬儀当日の様子を追悼文として報告してもらいました。

田中建一君を偲ぶ

増澤賢一（9組）

今年の7月26日、別所温泉の「松籟亭」（故甲田和弘君（7組）の次男経営）で二日会発起人例会を行う。当日参加した田中建一君の様子がいつもと異なる。あまり泣き言を言わない彼が体調不良を訴える。

その時は、皆で検査を受けるよう注意する。

3日後の7月29日、篠ノ井厚生病院に入院。それから約2か月後の10月9日、田中君の奥様和代さんから逝去の連絡。あまりにも田中君らしい潔い逝き方だ。

ショック、、、悲しい、、、

10月12日の葬儀には、コロナ禍の中、高校同期の多くの友人たちが参列し、焼香後も帰らず、荻原薫君（8組）の弔辞の間、共に後ろに並んでくれました。荻原君の挨拶から、故人の人となりを引用し、追悼文として紹介します。

二日会会長 荻原薫君のお別れの挨拶

「**田中、日本酒お爛にするか、冷酒にするか？**」酒をこよなく愛した田中君に、原稿もなしの大声で語り始めました。高校入学以来、半世紀以上の友であったと自己紹介してから、二日会の由来、目的、活動内容などを説明。

応援団では副団長として中心的な活躍をした当時の姿を報告。

また近年、地元自治会の会長時には、年1回の二日会総会も欠席、好きなゴルフも止めて、区民の安全のため、一日たりとも家を留守にしないで責任感を持って頑張ったこと。東御市の荻原君のブドウ栽培繁忙期には、早朝、千曲市から1時間以上かけて手伝いに駆けつけてくれたこと。

故人の素晴らしい人柄について、具体例を混ぜ、ご家族、ご親戚、近隣の方々に伝えることが出来たと思います。

結びに、ご遺族にねぎらいと激励をし、長い間親友でいてくれたことに感謝し、ともに飲めなくなった寂しさを嘆き、冥福を祈りました。

最後に、後ろに並んだ友人たち全員で遺影に向かい、「**田中、ありがとう**」と声高く呼びかけました。

どうぞ安らかに眠ってください。 合掌

最後まで行動をともにしてくれた同期の皆さま、ありがとうございました。

これからの時を健康に留意して、身体を大切に過ごしていきましょう。

以上